

# 令和5年度 神奈川県環境整備功労者 表彰受賞事業所の概要及び功績紹介

当協議会会長からの推薦により、県知事表彰を受賞しました。

協議会では「特にその功績が顕著と認められる会員事業所」を神奈川県知事表彰候補として推薦し、この度受賞となりました。

去る11月20日に県庁本庁舎大会議場において表彰式が執り行われましたので、栄誉ある受賞功績について、会員の皆様にご紹介いたします。

## 受賞事業所:クアーズテック(株)秦野事業所(秦野市)

### (1)会社概要

1961年東芝電興株式会社秦野工場として発足、1968年に東芝セラミック株式会社、2007年にはコバレントマテリアル株式会社、2015年にクアーズテック株式会社に社名変更し、現在に至っています。秦野事業所は、新製品・新技術の開発を行う技術開発センターをはじめ、生産設備・プロセスの開発、精密加工技術の開発などを行う部門を有するクアーズテックの技術の中核を担う拠点となっており、事業内容としては、生産設備・精密加工技術の開発、バイオ・医療関連製品製造、シリコン部材・セラミックフィルター製造を行っています。



事業所外観

### (2)主な功績概要

クアーズテック(株)グループでは、国内の各事業場に「リサイクルセンター」を設置するなど、廃棄物を適正管理するとともに、3Rをキーワードとして、事業活動を通じて環境負荷の低減に取り組み、秦野事業所では2004年度から本格的なゼロエミッション活動をスタートしました。2006年にゼロエミッション(最終処分率5%以下)を達成、2009年には最終処分率0%を達成、以降14年間、最終処分率0%を維持しています。

- ① 2008年から3Rの更なる取り組み強化施策として「バーコード」を活用した管理システムを活用し、リサイクルセンターで収集した全ての廃棄物の品目・重量を数値化及びグラフ化することで、廃棄物発生状況の「見える化」を行っています。
- ② 総排出量(産業廃棄物+有価物)原単位を前年実績以下にする目標を設定、部門ごとに施策を検討、廃棄物発生量の抑制に取り組んでいます。
- ③ 定期的な従業員への環境教育や廃棄物の適正管理、また51種類の細かな分別により、ゼロエミッション(最終処分率0%)を2009年に達成し、以降14年間継続しています。現在では、排出されるすべての産業廃棄物は電子マニフェストに置き換わり、適正に処理されたことを確実にする管理を継続しています。



左から、尾裕環境農政局長、クアーズテック(株)秦野事業所 白石事業所長、協議会植松副会長  
小板橋副知事、古賀県議会環境常任委員長、関 環境部長